年間授業計画　新様式

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　数学　　科目 数学Ⅰ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅰ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　G　組

教科担当者：（A組：池上　丸山）（B組：池上　丸山）（C組：岩本　滝澤）（D組：大矢　滝澤）（E組：大矢　滝澤）（F組：岩本　大矢）（G組：岩本　滝澤）

使用教科書：（ 数研出版　新編　数学Ⅰ　　）

教科　数学　　の目標：

【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。

【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目　数学Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	式の計算 式を，目的に応じて1つの文字に着目して整理したり，1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて，多面的に捉えたり，目的に応じて適切に変形したりする力を培う。	・多項式の加法減法 ・多項式の乗法 ・因数分解	【知識・技能】 小テスト，考査 【思考・判断・表現】 考査，提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	9
	実数 実数が四則演算に関して閉じていることや，直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに，簡単な無理数の四則計算ができるようにする。	・実数 ・根号を含む式の計算	【知識・技能】 小テスト，考査 【思考・判断・表現】 考査，提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	１次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに，不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり，具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。	・不等式の性質 ・１次不等式 ・絶対値を含む方程式不等式	【知識・技能】 小テスト，考査 【思考・判断・表現】 考査，提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	10
	集合と命題 集合と命題に関する基本的な概念を理解し，それを事象の考察に活用できるようにする。	・集合 ・命題と条件 ・命題と逆，裏，対偶 ・命題と証明	【知識・技能】 小テスト，考査 【思考・判断・表現】 考査，提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2学期	２次関数とグラフ ２次関数の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに，２次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフを描くなどして多面的に考察する。	・関数とグラフ ・２次関数のグラフ ・２次関数の最大最小 ・２次関数の決定	【知識・技能】 小テスト，考査 【思考・判断・表現】 考査，提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	２次方程式と２次不等式 ２次方程式や２次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し，２次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	・２次方程式 ・２次関数のグラフとx軸の位置関係 ・２次不等式	【知識・技能】 小テスト，考査 【思考・判断・表現】 考査，提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
3学期	図形と計量 三角比の意味やその基本的な性質について理解し，三角比の相互関係などを理解できるようにする。また，日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ，三角比を活用して問題を解決する力を培う。	・三角比 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張 ・正弦定理 ・余弦定理 ・正弦定理と余弦定理の応用 ・三角形の面積	【知識・技能】 小テスト，考査 【思考・判断・表現】 考査，提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	10
	データの分析 適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力，実験などを通して判断したり，批判的に考察したりする力などを養う。	・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばりと四分位数 ・分散と標準偏差 ・２つの変量の間の関係 ・仮説検定の考え方	【知識・技能】 小テスト，考査 【思考・判断・表現】 考査，提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	5 合計 82